



きょうのテーマ



はやさアドバイザーの

学ぼう防災

38

皆さんもテレビやスマートフォンで「大雨警報」や「洪水警報」を見たり聞いたりしたことがあると思います。これらの防災気象情報が29日に新しくなります。

これまでの気象情報は「どのくらい危険なのか」が分かりにくいという課題がありました。大雨や川の氾濫、土砂災害など災害ごとに警戒レベルとの関係が異なり、いつ避難すればよいのか迷うことがあったのです。

そこで新しい仕組みでは、全ての情報が警戒レベルに合わせて整理されました。「大雨警報」は「レベル3大雨警報」というように注意報や警報にレベルが付けられ、数字を見るだけで危険の大きさと取るべき行動が分かるようになります。

さらに「危険警報」という新しい情報も加わります。これはレベル4に

当たり、「全員が避難する目安」となる重要な情報です。危険が高まった段階を分かりやすく伝え、避難のタイミングを逃さないようにします。実際に避難を呼びかけるのは、市町村が発令する「避難情報」です。たとえば「高齢者等避難(レベル3)」や「避難指示(レベル4)」があります。気象情報は危険が近づいていることを知らせ、避難情報は行動を促します。この二つを見ながら、早めに判断することが大切です。

特に重要なのは「レベル4までに避難する」と。レベル5は命の危険が迫っている状態なので、そこまで待ってはいけません。線状降水帯など急激に危険が高まる現象を知らせる情報は「気象防災速報」として発表されます。この情報が発表された時は身の安全を最優先に行動しましょう。

は、皆さんが避難のタイミングを判断するための情報です。地震のように突然発生する災害とは違い、大雨や洪水は危険が近づく様子を事前に知ることが出来ます。

その情報をどう生かすかは、皆さんの行動にかかっていきます。ハザードマップを確認し、家族と避難のタイミングや場所を話し合っておくことが、命を守る行動につながります。(仙台市防災・減災アドバイザー 坂政人)

レベル付け分かりやすく

どんな災害があるかな？

河川はんらん 川の水があふれる 危険なのは 川の近く 「はんらん」が発生すると建物に水がつかたり流されたりするんだ 	大雨 たくさんの雨がふる 危険なのは ひくいところ 線路の下の道路など低いところや、地下室は、大雨がふると水につかってしまうよ
土砂災害 かけがくずれる 危険なのは 山やガケの近く 山や斜面がくずれて石や土などが流れてきやすくなるんだ 	高潮 海の水があふれる 危険なのは 海の近く 台風などが近づいて海面が高くなる「高潮」が発生すると海の水が堤防をこえてしまうよ

5つの危険度と情報の種類をおぼえよう

黒	レベル5 特別警報 すではんらんや土砂くずれなどがおきているかも！ 少しでも安全なところへ かけなどから離れた部屋へ。 建物のできるだけ高いところへ
紫	レベル4 危険警報 災害が発生してもおかしくない 危ないところからすぐ逃げよう
赤	レベル3 警報 お年寄りなどの逃げる時間がかかる人には早めに逃げるよう呼びかけよう
黄	レベル2 注意報 どんな危険があるか、どうやって逃げるか、おうちの人と相談しよう
白	レベル1 早期注意情報 今後の情報に注意しよう

気象庁の子ども向け広報資料を基に作成 イラスト さとうあけみ

この日 何の日

◇24日(日) 伊達政宗忌
昔の暦だった1636年のこの日、仙台藩祖の伊達政宗が参勤交代で滞在中の江戸で亡くなりました。今の暦になっても、毎年この日に政宗をまつる仙台市青葉区の瑞鳳殿で法要が行われるんだよ。

きょうの紙面

- 2面 やさしいにほんごニュース
- 3面 新連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて話して こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ